



Overseas Fishery Cooperation Foundation of Japan

評価報告書

— 平成 30 (2018) 年度 研修生受入事業 —
(終了時評価—2019 年 4 月)

個別研修生受入 (定置網)

研修生受入の概要

研修コース名	個別研修生受入
参加国及び参加人数	1 か国 3 名 (パプアニューギニア独立国 3 名)
研修コース実施の経緯と背景	我が国関係沿岸国においては、水産物の漁獲、加工、流通等様々な政策課題を担当する人材育成が喫緊の課題になっている。 本研修は、関係沿岸国の水産振興・開発を担う人材を対象とし、短期間でそれぞれの課題に特化した技術力の向上を図るため設定したコースである。
研修期間及び研修場所	2018 年 8 月 18 日～9 月 5 日 (19 日間) 一般研修：8 月 20 日 (1 日間) (研修場所：海外漁業協力財団) 技術研修：8 月 21 日～9 月 2 日 (13 日間) (研修場所：漁網会社・事業所、水産物加工場、定置網漁船、水産関連施設等)
上位目標	関係途上国における水産業の振興が図られる。
研修目標	相手国政府等が推進する漁業振興・管理を担う良質な技術者等が育成される。
成果	水産関連組織の管理運営、訓練実技等に係る技術が向上する。
活動	技術研修 座学：根網の切断・連結・建込、垣網の仕立て、浮子の取り付け、土俵作成、水産物加工等 実習：水産物加工、流通、販売等 見学：定置網操業、水産関連施設 (氷見魚市場等)
投入	財団側 1)一般研修 人的投入 (専門家)：1 名 物的投入 (研修資材等)：研修備品等 2)技術研修 人的投入 (指導員等・専門家)：4 名 (指導員等 3 名、専門家 1 名) 物的投入 (研修資材等)：定置網関連資材等

	3)事業費 4百万円 受入対象国側 投入なし
--	-------------------------------------

評 価 事 項

◆ 妥 当 性

1. 研修実施計画は相手国のニーズに合致していたか

途上国等は、自国水産業の振興・開発と適切な漁業管理制度の構築を重要な政策として位置付けている。そのため、人材育成のニーズが大きく、特に将来管理者となる技術者を対象とした研修を強く希望している。

パプアニューギニア独立国（以下、「パプアニューギニア」という。）政府は、沿岸漁業の発展を重要な施策の一つとしており、特に定置網漁業を沿岸小規模漁業の発展に有効と位置付け、当財団の技術的支援の下、定置網漁業の全国的普及を推進している。本研修は、当該政策推進のために実施している定置網漁業に関する試験調査プロジェクト（以下、「プロジェクト」という。）のパプアニューギニア側担当者のキャパシティビルディングを図るものであり、相手国のニーズに合致していた。

2. 研修実施計画の妥当性（一般研修・技術研修）

研修実施計画は、プロジェクトにおける研修生の担当業務（定置網の保守・管理等）に係る技術力の向上を図るために必要なスタッフ・設備を有する機関において、プロジェクトに影響のない期間に策定・実施されており、妥当であった。

3. 研修実施計画は、一般研修期間及び技術研修期間中の研修生活の実態を考慮して作成されたか

指導員、専門家等を適切に配置する等、日常生活を考慮して実施計画が作成された。

4. その他

特になし。

◆ 効 率 性

1. 講師、研修施設、研修資機材等は計画通りに投入され、期待される成果を上げたか

事業所等において、定置網漁具の仕立て等に経験豊富な指導員が、定置網漁具製

作訓練、取扱い講習等を担当した。

これら指導員の配置に加え、研修教材及び資材、使用される施設等は計画通りに投入され、期待される成果を上げた。

2. 研修内容、水準、技術指導方法は適切に実施されていたか

技術研修の日数、内容、水準及び指導方法は、これまでの実績を踏まえ、適切に計画され、実施された。

3. その他（研修の効率性に影響を与えたと考えられる貢献・阻害要因等）

特になし。

◆ 有効性

1. 研修目標の達成度

研修目標：相手国政府等が推進する漁業振興・管理を担う良質な技術者等が育成される

研修生は、定置網操業の技術的リーダーであり、一定程度の専門知識を有していたが、本研修により知識のレベルアップが図られ、生産現場の技術者としての資質と技術力がさらに高まったことで研修目標は達成された。

2. その他（研修生の研修意欲・研修満足度等及び職場における社会・文化、制度上の環境等外部要因が、研修目標の達成に与えた影響等）

特になし。

◆ インパクト

1. 上位目標の達成に対する研修目標の達成の効果は、どの程度見込まれるか

本研修を通じてパプアニューギニアが推進する定置網の普及を担う人材が育成されたことにより、プロジェクトの効果的な実施が図られた。更に、これらの人材が将来指導的立場に立つことにより、今後のパプアニューギニアの水産業の振興という上位目標の達成に一定の効果が見込まれる。

2. 研修事業は、政策形成、社会・経済等でどのような直接的・間接的な効果又は負の影響が見込まれるか

プロジェクト関係者の運営管理能力及び専門技術が向上し、プロジェクトの効率的な実施が図られるとともに、プロジェクト実施地区から周辺に技術が伝播することにより、当該国の水産業のレベルアップに一定の効果が見込まれる。

3. その他（計画当初予見できなかった効果又は負の影響が見込まれるか等）

特になし。

◆ 持続性

1. 研修生は帰国後、研修の成果を有効に活用している（できる見込み）か

研修生の技術力の向上は、相手国が政策を実施する上で貴重なものである。研修生は漁業振興の実施担当者として、習得した知識・技能の普及や一層の業務の効率化、高度化を目指すことが期待され、成果は有効に活用される。

2. その他（相手国及び研修生の自立発展に影響を与えたと考えられる貢献・阻害要因等）

特になし。

以上